

### いよいよ世界遺産登録！ わたしたちのまちの宝物が、世界の宝物に！

ゴールデンウィークまっただ中の5月4日、私たち大牟田市民にとってとてもうれしいニュースが、全国に発信されました。「明治日本の産業革命遺産 製鉄・鉄鋼、造船、石炭産業」がユネスコの諮問機関であるイコモスによって、世界遺産登録勧告がなされたということでした。いよいよ、私たちのまちの宝物が、世界の宝物になる日が近づいてきました。6月28日からドイツで行われる世界遺産委員会で正式決定される予定です。世界遺産本登録を大きなチャンスとして、子どもたちに、これらの史跡の価値について、しっかり学ばせていきたいものです。



### ユネスコスクール間交流の促進を

ユネスコスクールとして、それぞれの学校のESDを充実させていくことはもとより、もう一つ大きなポイントがあります。それは、ユネスコスクール間の交流です。それぞれの学校の取組を紹介し合い、それぞれの取組のよさや価値を共有することによって、さらにESDの広がりやつながりが期待できます。

ユネスコスクールのホームページ等を参考に、国内外の学校と交流を図っていきましょう。本ホームページには、具体的に交流を進めていく上での配慮事項等も示されています。他のユネスコスクールと交流できていない学校は、是非交流相手校を見つけ、まずは簡単な交流からでも結構ですから、実行していきましょう。

### 大牟田市立田隈中学校の実践

#### 大刀洗平和記念館訪問を通して

本校では、人権・平和を考えることで、ESDの学習を進めています。1年生では、まず「大刀洗平和記念館」を訪問して、命の大切さについて考えていきます。戦争、特攻の歴史を講話や映像でより詳しく学びました。生徒は家族のことを最後まで心配して亡くなっていった特攻隊の若者と自分を重ね合わせて、これから二度とこのような思いをしないうすむために、自分たちは何をすべきかを真剣に考えました。

今後、この記念館で学習したことを、他校に発信していくことで、平和の大切さについて広めていきたいと思えます。



### 大牟田市立平原小学校の実践

#### 「アートマイル」での交流を通して

平原小学校の6年生が、アートマイルの取組を通して、ケニアの友たちと交流をしました。アートマイルの取組とは、両校で一つのテーマを決め、そのテーマについてインターネットを通じて交流を行います。交流のまとめとして、大きなキャンパスに半分ずつ絵を描き、一つの大きな絵に仕上げていきます。両校で選んだテーマは「将来の夢」でした。お互い、自分の就きたい職業について英語で紹介したり、学習のまとめを伝え合ったりしました。絵が仕上がってケニアから届いた時は大歓声を上げて喜びました。

国が違って、自分たちと同じように夢を持ったり、大切にしていきたいものがあったりすることを感ずることができました。世界に視野を広げるきっかけとなった学習でした。

